令和６年度　第５回普及啓発講演会報告書

１．日　時：令和６年１０月２日（水）１０時００分～１２時００分
２．場　所：清見市民センター
３．演　題：①在宅療養　②介護保険　③とびうめ@きたきゅう
４．講　師：門司在宅医療・介護連携支援センター　飯田　稔・鶴　智子
５．参加者：地域住民 31 名、職員３名
６．アンケート結果（回収 29 名）
（１）性別：男性（３名）、女性（26 名）
（２）年代：６０代（１名）、７０代（13 名）、８０代（15 名）
（３）本日の内容について
わかりやすかった（24 名）、いくらかわかりやすかった（５名）、未回答（０名）
【理由】・自分らしく生活したい。家族に迷惑をかけたくない。
・支えてくれる人がいるか、いないかで違ってきますね。知識が増えていろんな選択ができるなと思いました。
・今、元気なうちに勉強できて助かりました。
・80 代、不安の多い年齢です。参考になりました。
・動画で実際にあの生活を見せて頂き以前の考えと少し違いを感じております。
（４）あなたは、在宅医療を受けてみたいと思いますか？もしくは、ご家族等に勧めてみたいと思いますか？　はい（17 名）、いいえ（２名）、わからない（１０名）
【理由】
・今までずっと在宅医療は家族に迷惑がかかると思い、体が不自由になったら施設にと思っていました。北九州市の在宅医療が進んでいることにびっくりしました。考えてみます。
・家族は遠方、夫は病気持ち、専門の人たちにお願いするようになると思っています。
・夫がお世話になって私も随分気持ちが楽になり頑張ることができました。一人で頑張らないで助けを借りたらよいと思います。
・最期を先生が見て下さるのは安心しました。
・まだピントこないけれど知識としてわかってよかった。
・在宅医療が希望ですが家族と相談してみましょう。
（５）その他、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせ下さい。
・気になりつつも一歩を踏み出せないのが私です。重い足が動くきっかけになります。
・もう少しゆっくり時間をとって頂きたい。
・アプリやＱＲコードを使って調べるのが多くなってきたら、そういうのができない人はどうしたらよいのでしょう。
・終末について考えさせられました。